

紛争、貧困、女の子だから…
様々な理由で教育の機会を奪われた子どもたち

あなたのはがきが 子どもたちの**夢**をかなえます！

書き損じはがき

11枚で

1人が1か月
学べます！

(カンボジアの場合)



「将来の夢は、お医者さんになってみんなの病気を治すことです」
チェン・ラシンさん(カンボジア)

「書き損じはがきキャンペーン」
にご協力ください

書き損じはがきとは…

- ・住所を間違えた！
- ・額面が古くなった！
- ・印刷を失敗した！
- ・余っちゃった！

など、投函していない
はがきのことです。



この黄色い回収箱
(名古屋市内の郵便局、図書館、区役所などに設置しています。)に入れるか、下記にご郵送またはご持参ください。

書き損じはがきキャンペーンに関するお問い合わせは…

“世界寺子屋運動” 名古屋実行委員会
(公財) 名古屋国際センター 交流協力課内
〒450-0001 名古屋市中村区那古野一丁目47-1
TEL: 052-581-5691 e-mail: koryu@nic-nagoya.or.jp



詳しくはこちらをご覧ください。

書き損じはがきが 支援金になるしくみ

1. 受付

みなさまから書き損じはがきをご寄付いただきます。

2. 整理

(公財) 名古屋国際センターの国際協力ボランティアがはがきを仕分けします。

3. 交換

郵便局で切手や新しいはがきに交換します。

4. 販売

切手やはがきを企業や協力団体に購入してもらい、資金化します。

5. 支援

(公社) 日本ユネスコ協会連盟に送金し現地の識字教育を支援します。

切手やはがきをご購入いただくことでも国際協力につながります！

キャンペーンキャラクター
「はがきちゃん」



支援金はこのように使われています！



寺子屋の建設



教材の提供



教師の養成・授業の運営



生活向上プログラム

“世界寺子屋運動”では人々の将来の自立を考えた支援を大原則に、現場のニーズにあった支援活動を行っています。